

春の叙勲

仙北市関係者 4 人が受章

平成 22 年春の叙勲で、仙北市関係者 4 人が受章されました。旭日双光章を地方自治功勞により藤原貫一氏（田沢湖）が、瑞宝単光章を水位観測業務功勞により小林康次郎氏（西木町）が、消防功勞により菅原與太郎氏（角館町）が、受章されました。

また、仙北市出身者の經德禮文氏（千葉県）が農林水産行政事務功勞により瑞宝小綬章を受章されました。

旭日双光章 藤原 貫一 氏



昭和 40 年 9 月に田沢湖町議会議員に初当選。平成 18 年 4 月まで、永年にわたり地方自治に尽力。その間、産業建設常任委員会委員長、教育民生常任委員会委員長等を歴任されました。

瑞宝単光章 菅原 與太郎 氏



昭和 25 年に角館消防団入団。入団以来幾多の火災に出動し、副団長として消防団の先頭に立ち、地域の防火・防災に尽力されました。この功績が認められ、この度の受章となりました。

※小林康次郎氏の写真及び経歴は都合により、次号以降に掲載します。

「明日の県立高校を考える市民会議」第 1 回会議開催

4 月 25 日、明日の県立高校を考える市民会議が、田沢湖総合開発センターで開催されました。

仙北市における県立高校の整備について、秋田県教育委員会の第 6 次高校総合整備計画（平成 23～27 年度）の素案が、2 月定例県議会に示され、6 月頃から議論を始められ、9 月には成案をまとめる方向となっています。

この中で、学校の統合整備で角館地区統合高（角館高校・角館南高校）の構想が、第 5 次後期計画より引継ぎされており、引き続き地域との協議を進めるとあります。

そのため、市民会議では、整備計画が、この地域の未来を担う次代の育成という重要課題であることから、計画に仙北市民の思いを織り込むことを目的

に、6 月を目途に議論を進めていただくことになっています。

会議では、初めに、21 人の委員に委嘱状が交付されたあと、委員長をお願いしていた藤川浄之さん（元秋田魁新報社・主筆）から、副委員長に阿部善朗さんが指名されました。

次に、各委員から、地域の高校教育についての現状、あるいは少子化に向けた高校教育の将来についてなど、それぞれの委員の立場から貴重な意見が出されました。

市民会議は、原則公開で、3 地区を巡回しながら開催していくこととし、提言としてまとめられることになっています。

〔市民会議の委員〕（敬称略）

- 学識経験者 藤川浄之
- 高校同窓会代表 高橋雄七・草薨良子
- 保護者代表 澤田雅樹・大山勝良・堀川清澄
- 学校関係者 佐藤健公・菅原明雅・田口和典・武藤清茂
- 公募委員 遠藤康・千葉文士・田口秀成・千葉昶子・田口達生・福田金作・門脇彰一・阿部善朗・鈴木昭子
- 教育委員会代表 佐久間健一・熊谷徹

